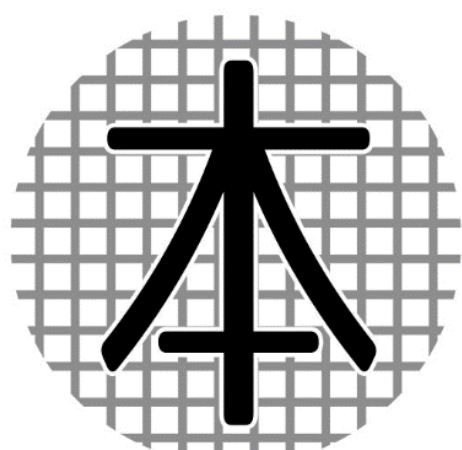


小樽商科大学
夜間主コース



紹

介



本



ゼ



ミ

ナ

ー

ル

2018

目次

研究指導履修上の注意事項	p.3
夜間主コース研究指導募集手続	p.4
経済学科.....	p.6
商学科	p.7
企業法学科.....	p.8
社会情報学科.....	p.9
ゼミ配置図	p.10

○掲載内容について

本冊子は、教務課学部教務係とゼミナール協議会が分担して編集作業を担当致しました。

研究指導募集要項に関する事項：教務課学部教務係（gakubu@office.otaru-uc.ac.jp）

ゼミナール紹介白書：ゼミナール協議会（shodaijichikai@gmail.com）

本冊子に原稿をお寄せ下さった全ての方々に、心より感謝申し上げます。

本冊子のレイアウトに関わる作業は、昼間部学生自治会事務局が行いました。

夜間主コース研究指導（ゼミナール）履修上の注意事項

教務課

1. 夜間主コース研究指導は原則として必修科目とし、原則として自学科科目あるいは専門共通科目の研究指導を履修するものとする。
2. 3年次への進級要件を満たせなかった場合、ゼミの内定を受けたとしてもゼミに所属することができないので注意すること。
3. 研究指導の履修期間は、学期単位（前期、後期でそれぞれ1学期）で扱い、単位（8単位）を修得するためには4学期（合計2年間）を履修しなければならない（原則は3、4年次の2年間継続履修である）。
4. 研究指導は原則必修としているが、ノンゼミを志望する学生は、学科長宛に申し出るものとし、学科長において例外的措置として承認が得られた場合のみ、ノンゼミを認めることとする。ノンゼミを認められた学生は、学科科目について所定の単位の他、ゼミ相当分の8単位を、更に履修しなければならない。
5. ゼミ所属の変更は、非常に難しいので慎重に選択すること。なお、万一変更の必要が生じた場合はただちに教務課学部教務係まで申し出ること。
6. ゼミの無断欠席が続くと除名される場合があるので注意すること。
7. 募集要項中で選考の方法等が未定になっている場合には、掲示等により通知するので十分に注意すること。

夜間主コース 研究指導募集手続

夜間主コースの学生は、以下に従い、必要手続を行ってください。なお、夜間主コースの学生は、昼間コースのゼミに所属することはできません。募集手続は正しく守って行動するようにして下さい。

1. 研究指導オリエンテーション 【9月28日（木）予定】

時間：19時20分～19時50分

担当教員よりゼミ内容の紹介を行います。対象学生は必ず出席して下さい。

2. 第1次志望ゼミ申込期間 【10月25日(水)～10月31日(火)】

- ① アンケートフォーム（URL）より、所属を希望するゼミを、第1志望のみ登録する。（締切：10月31日（火）20時）。

※アンケートフォームのURLは、《大学HP→学生生活・就職→お知らせ》に掲載予定です。また、5ページ目下のQRコードからアクセスできます。

- ② 申込期間中は、各ゼミの志望状況を適宜公表する。

- ③ 締切日までは、希望ゼミの変更を認める。変更希望者は、アンケートフォーム登録時に送信されたメールから修正を行うか、再度アンケートフォームに登録を行うこと。（登録が一番新しいものを、最終希望とみなします。）

3. 第1次選考期間 【11月7日(火)～11月17日(金)】

この期間中に、第1志望の申込をおこなった者を対象に選考するので、対象となる者は、各教員の募集要項の指示に従って面接等を受けること。

4. 第1次選考結果発表及び第2次募集告知期間 【11月7日(火)～11月24日(金)】

この期間中に、各教員から選考結果が適宜発表される。内定者の発表、第2次募集の有無については、掲示等でおこなう。

第2次募集については、新たに希望ゼミに登録する必要はありません。

5. 第2次選考期間及び第2次選考結果発表 【11月27日(月)～12月19日(火)】

この期間中に、第1次選考でゼミの内定を得られなかった学生は、各教員が指定した選考日時・場所で適宜選考を受けること。

第2次募集については、重複して選考を受けることを認めている。

この期間中に、各教員から選考結果が適宜発表される。内定者の発表、第3次募集の有無については、掲示等でおこなう。

なお、内定が重複した場合は、速やかに内定を辞退する教員にその旨申し出ること。

6. 内定者発表 【12月22日（金）】

教務課学部教務係より各ゼミの最終的な内定者を掲示する。

7. 最終活動期間 【12月22日（金）～3月末日）】

研究指導は原則として必修なので、選考期間中にゼミ所属が決定しなかった学生は内定活動を継続すること。
該当者は呼び出しを受ける場合があるので、掲示には十分注意すること。

備 考

- ノンゼミを希望する場合は、原則として11月30日（木）までに所属学科の学科長あての所定の申請用紙（教務課学部教務係にて配布）により申し出、承認を受けること。
ただし、ノンゼミは自動的に認めることではなく、例外的措置として認められる場合に限られるので注意すること。
※ノンゼミは必ずしも承認されるとは限らず、承認が得られなかった場合は、そこからゼミ所属活動を行うこととなるため、ノンゼミを考えている学生は、なるべく早い申請を勧める。
- 第1次選考で落選したものは、教員に直接連絡をとり、選考を依頼するなど積極的に行動することを勧める。



※アンケートフォームはこちらからアクセスできます。

教員名 和田 良介（経済学科）

1. 研究主題

金融資産価格の理論的、実証的研究。特に金融派生商品と呼ばれる金融商品の取引方法や価格理論を主に学びます。

2. 指導要領

- a. 3 年次：①金融理論の学習。問題演習を中心に行います。② Mathematica（数学ソフト）を使います。数学や数学的なモデルは、コンピューターを使って「試しに計算してみる」、「グラフを描いてみる」、「シミュレーションをやってみる」ことを通じて理解していきます。
- b. 4 年次：前期は教科書の演習問題を解いて行きます。夏休みから卒論を開始します。
- c. 卒論：全員が卒論を選択すれば共同で卒論を作成します。12 月上旬までに完成させて「学生論文賞」に応募します。
- d. 成績評価： 夏休みあるいは冬休み後に進捗を確認するために、理論モデルの数値解を求めるような問題のテストを行うことがあります。

3. 指導テキスト及び参考書

「ファイナンス理論入門」、木島 正明, 鈴木 輝好, 後藤 允、朝倉書店 2012 年を予定しています。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

面接と数学のテスト。テストは 30 分。

5. 面接・テスト等の日時・場所

応募者の時間割に応じて日時を決定します。場所は 319 号室です。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

和田良介のウェブページから応募用紙をダウンロードして記入の上、ゼミ申し込み期間中及び 11 月 2 日のオフィスアワーに持参してください。あるいは和田良介ゼミのレポートボックスを学生支援室に準備しますのでそこに 11 月 6 日までに提出してください。オフィスアワーは火曜と木曜 17:15-17:45、319 号ゼミ室です。

1. 研究主題

研究対象は、原価計算および管理会計です。理論と計算の両面から理解を深めます。

2. 指導要領

ゼミナールでは、原価計算および管理会計を学びます。基本書のテーマごとに担当者を決め、レジュメを PowerPoint で作成、報告をしてもらいます。また、問題演習の時間を設け、計算の習得をしてもらいます。

ゼミナールの履修を通じ、自らの意見を自分の言葉で表現できるようになることを目的とします。

3. 指導テキスト及び参考書

高橋賢『テキスト原価会計（第2版）』中央経済社, 2015 年.

岡本清・廣本敏郎・尾畑裕・挽文子『管理会計（第2版）』中央経済社, 2008 年.

4. 選考の方法（面接・テスト等）

面接および志望理由書により選考します。A4 用紙に、学籍番号、氏名（フリガナ）、メールアドレス、自己紹介、志望理由を記入の上、10 月 31 日（火）19 時までに上山宛（skamiyama@res.otaru-uc.ac.jp）にメールで提出して下さい。形式、字数等は問いません。

5. 面接・テスト等の日時・場所

11 月 8 日（水）17 時 45 分より、上山研究室において面接を行います。なお、面接の順番については、事前に掲示します。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

ゼミナールは、学生生活の中で互いに啓発し合える貴重な場です。協力し合って有意義な時間を過ごしましょう。

7. オープンゼミの日時・場所（予定） ※夜間主コースは記載不要

9 月 28 日（木）14：30～ ゼミ室（209C）

10 月 5 日（木）14：30～ ゼミ室（209C）

10 月 12 日（木）14：30～ ゼミ室（209C）

教員名 小倉 一志（企業法科）

1. 研究主題

憲法学の基本的な論点に関する学説・判例を学修します。

2. 指導要領

ゼミの進め方は、開講時に学生と相談して決めますが、現在のところ次のように考えています。

- ①参加メンバーを2、3人単位でグルーピングする。各グループは与えられたテーマについて学説・判例の調査・資料収集を行い、レジュメを作成し、発表を行う。
- ②その発表を基に、質疑応答を行う。特に、発表を担当しない側のグループは積極的に質問することが求められる。当然、教員も質疑応答に参加する。

3. 指導テキスト及び参考書

芦部信喜(高橋和之補訂)『憲法〔第6版〕』(岩波書店・2015年)・六法は、毎週、必ず持参すること(「手ぶら」で来ても出席とは見なされないので注意すること)。それ以外のテキストを追加購入してもらうか否かについては、開講時に学生と相談して決定します。

4. 選考の方法(面接・テスト等)

「面接」および学生各自が作成した「志望理由書」などにより選考する予定です。「志望理由書」は電子メール(word形式で作成した文書ファイルをメールで添付する方式)で提出してください(e-mail: ogura@res.otaru-uc.ac.jp)(締切: 10月31日(火曜日)20時)。

「志望理由書」には、①なぜこのゼミを選択したのか、②このゼミでどのような勉強をしたいのか、③卒業論文で扱ってみたいテーマ(可能であれば、その内容も)などを書いて下さい(その他、①②③以外の内容を自由に追加して構いません)。最低800字は書くこと。

5. 面接・テスト等の日時・場所

面接の日時・場所については、追って連絡します(メールチェックを怠りなく)。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

- ・ゼミの性質上、毎回出席することが成績評価の前提となります(正当な理由のない欠席は認めません)。その上で、ゼミにおける発言・報告内容などにより総合的に評価します。
- ・受入予定人数は10人程度を考えています。
- ・学生同士が自由かつ活発に議論できるゼミになればいいなあ、と思っています。

7. オープンゼミの日時・場所(予定) ※夜間主コースは記載不要

夜間主コースのゼミですので、オープンゼミは予定しておりません。ここ数年、連続して夜間主ゼミを担当していますので、ゼミの雰囲気を知りたい方は、先輩達に聞いてみてください。

教員名 三谷 和史（社会情報科）

1. 研究主題

- インターネットを用いたコミュニケーションに関する研究
- コンピュータネットワークに関する研究
- プログラミング言語とその処理系
- モノのインターネット（IoT）に関する基礎研究

その他、関連するテーマであれば、ある程度の希望は採り入れる。

2. 指導要領

3 年次：テキストの輪読と演習

最初に資料を読んで纏めたり意見を文書や ppt で口頭発表する技術と、発表に対して質疑応答をする技術を学んで、ゼミに参加する能力を陶冶する。その後、関数型プログラミングに関する本を使ってプログラミングについて学ぶ予定である。

4 年次：テーマに沿った卒業論文の作成指導

学生のモチベーションを維持するため、基本的に論文のテーマは学生自身で決めることとしている。そのため、オリジナリティを持った主張のできるタネを沢山持ってきて、そこから卒業論文に最も相応しいものを選択・指導していくので、沢山のタネを持って来るべく社会や技術に関心を常に向けておく必要がある。卒業論文を書かない学生は、少し大きめのプログラムの作成にチャレンジする。

3. 指導テキスト及び参考書

適宜指示する。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

氏名、学生番号と志望理由、卒業論文として研究したいテーマ等を具体的に記述した A4 版の用紙 1 枚の「申込書」を面接時に提出のこと。

5. 面接・テスト等の日時・場所

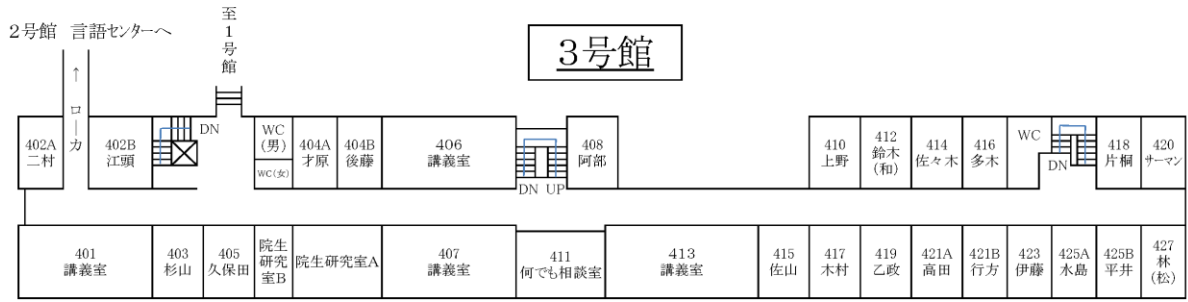
11 月 8 日(水曜)17:45 よりゼミ室(209D)にて行なう。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

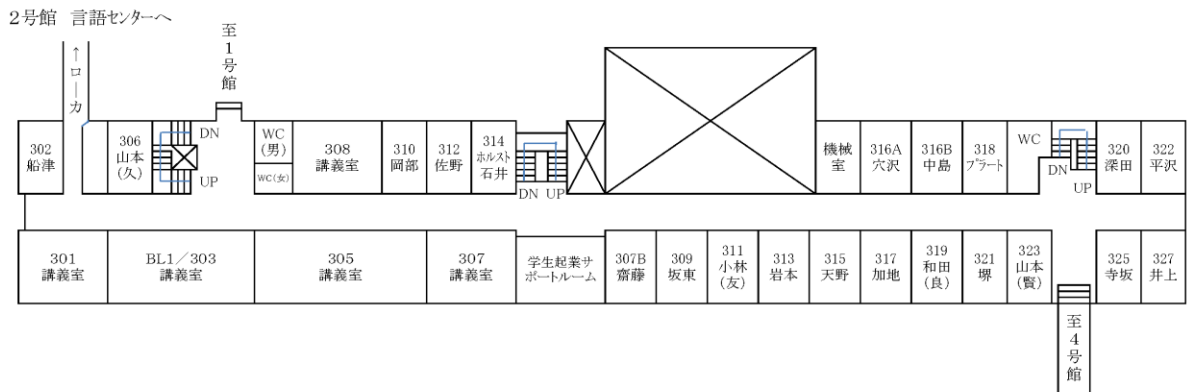
- 部活、サークル、アルバイト等で勉学を疎にすることがないこと
- 夜間主コース 研究指導募集手続を参照のこと

過去の所属学生は、基礎ゼミも含めて男性 63 名女性 35 名（内修士 4 名）、現在は男性 8 名である。

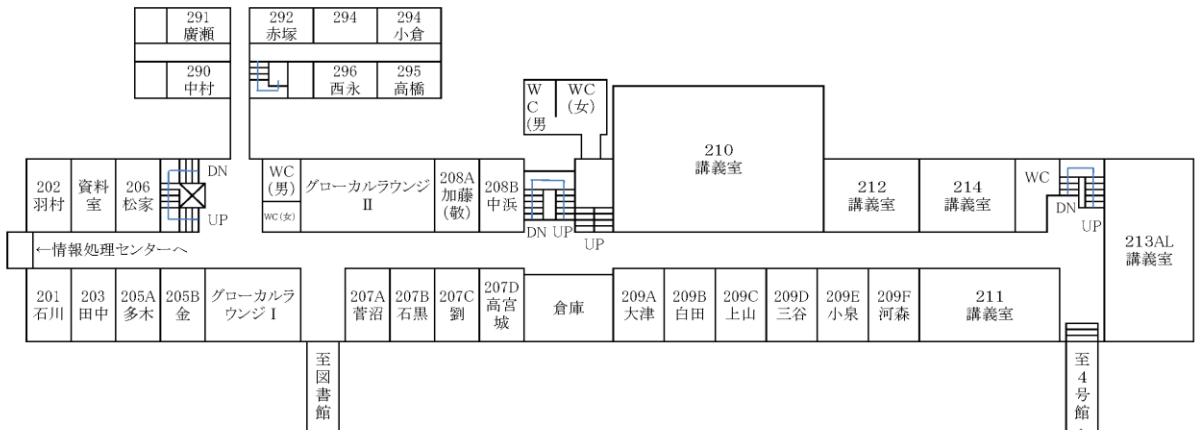
平成29年度 講義室・ゼミ室配置図



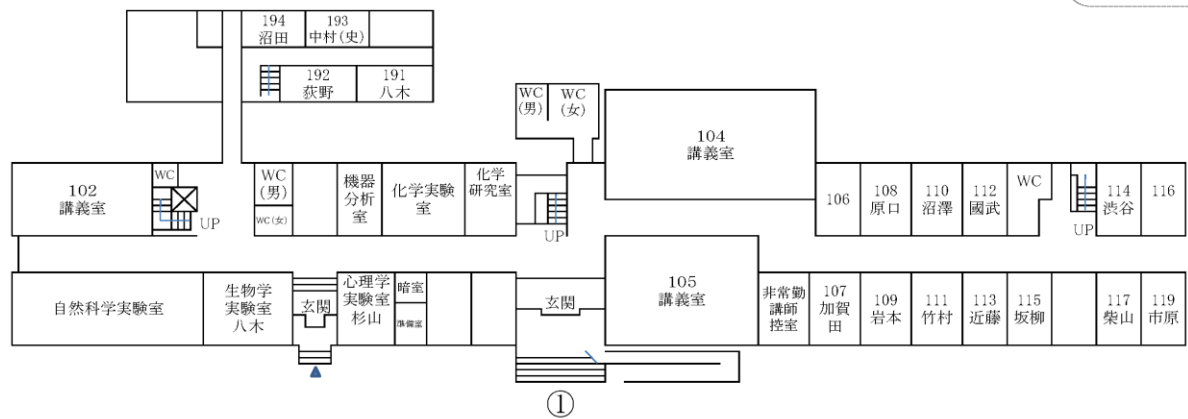
4階



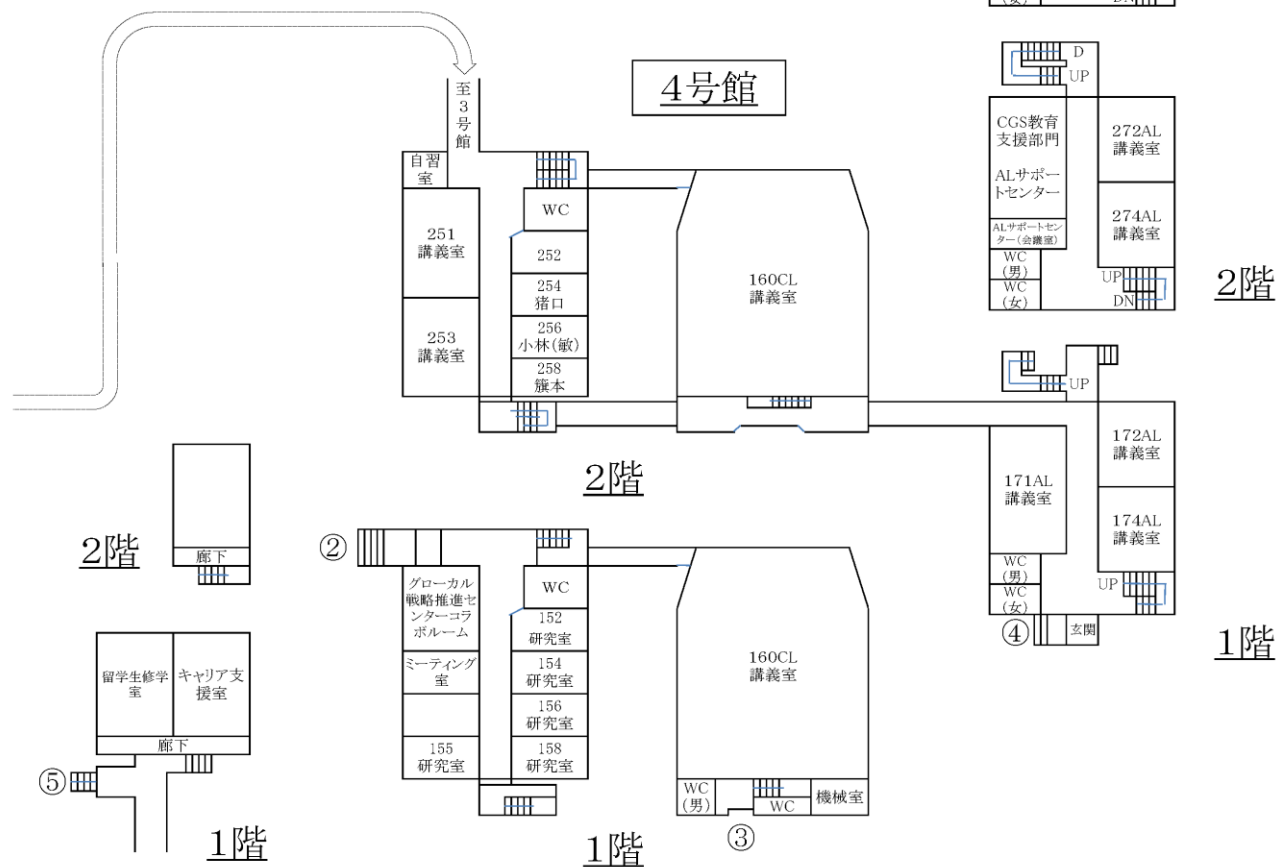
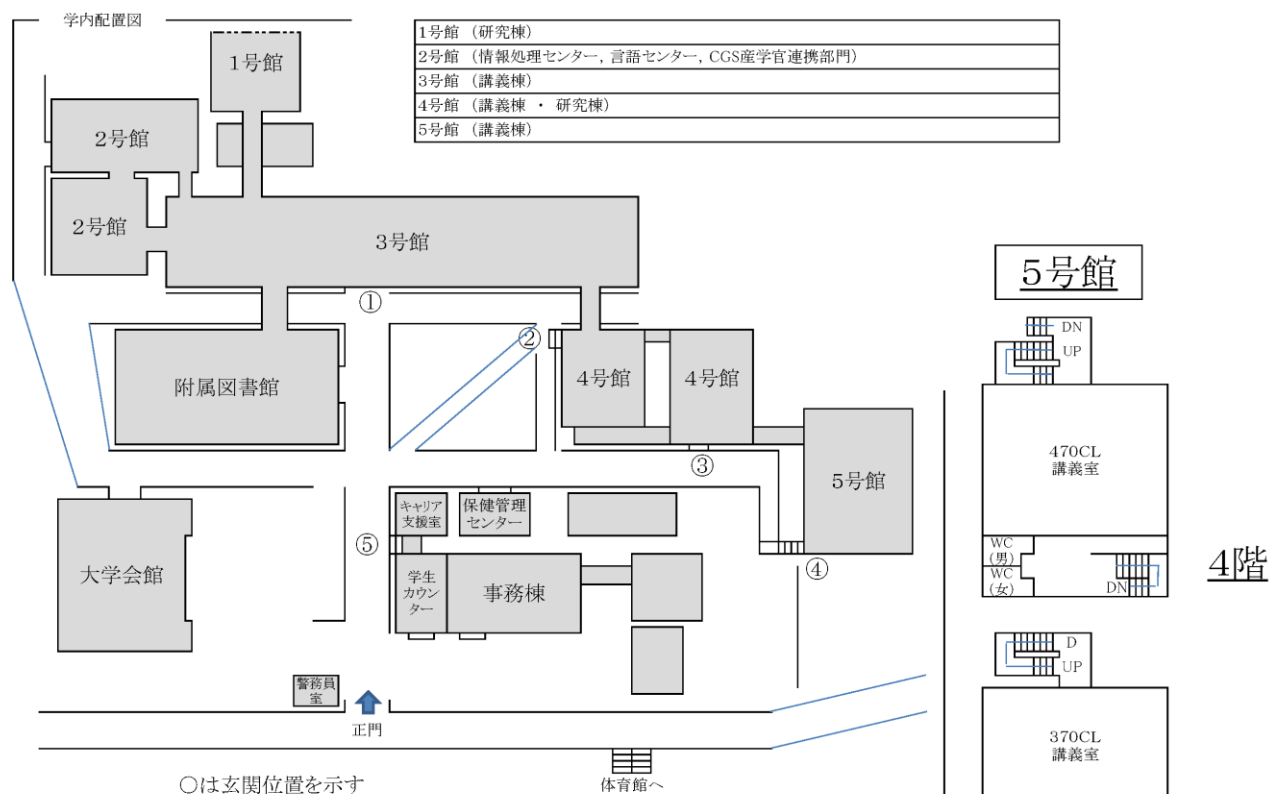
3階



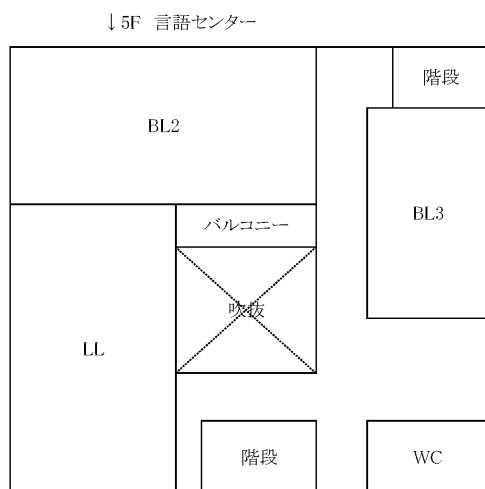
2階



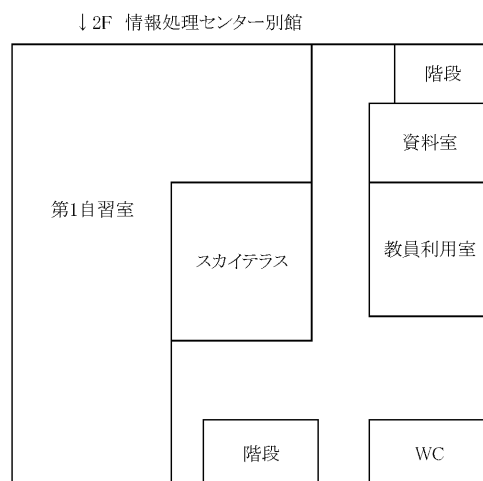
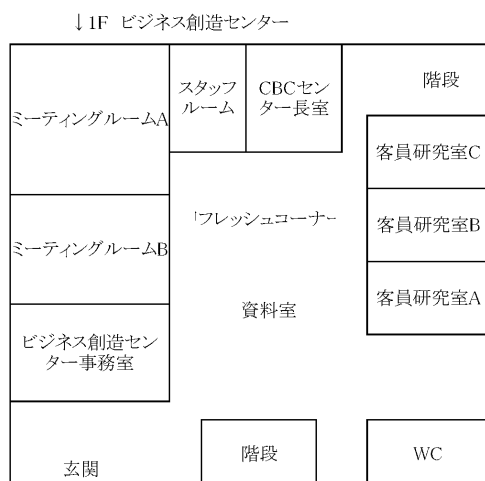
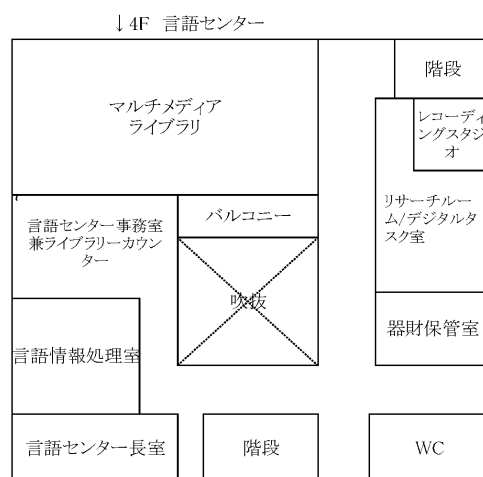
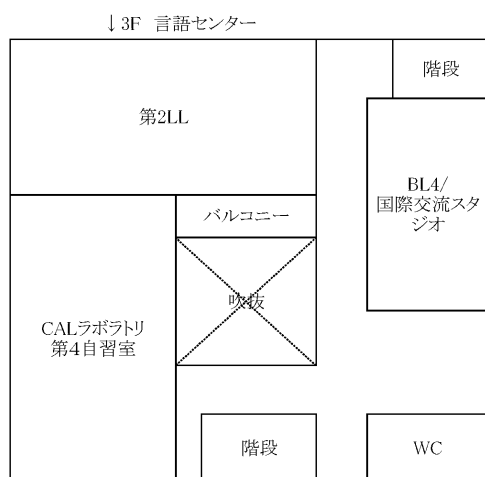
1階

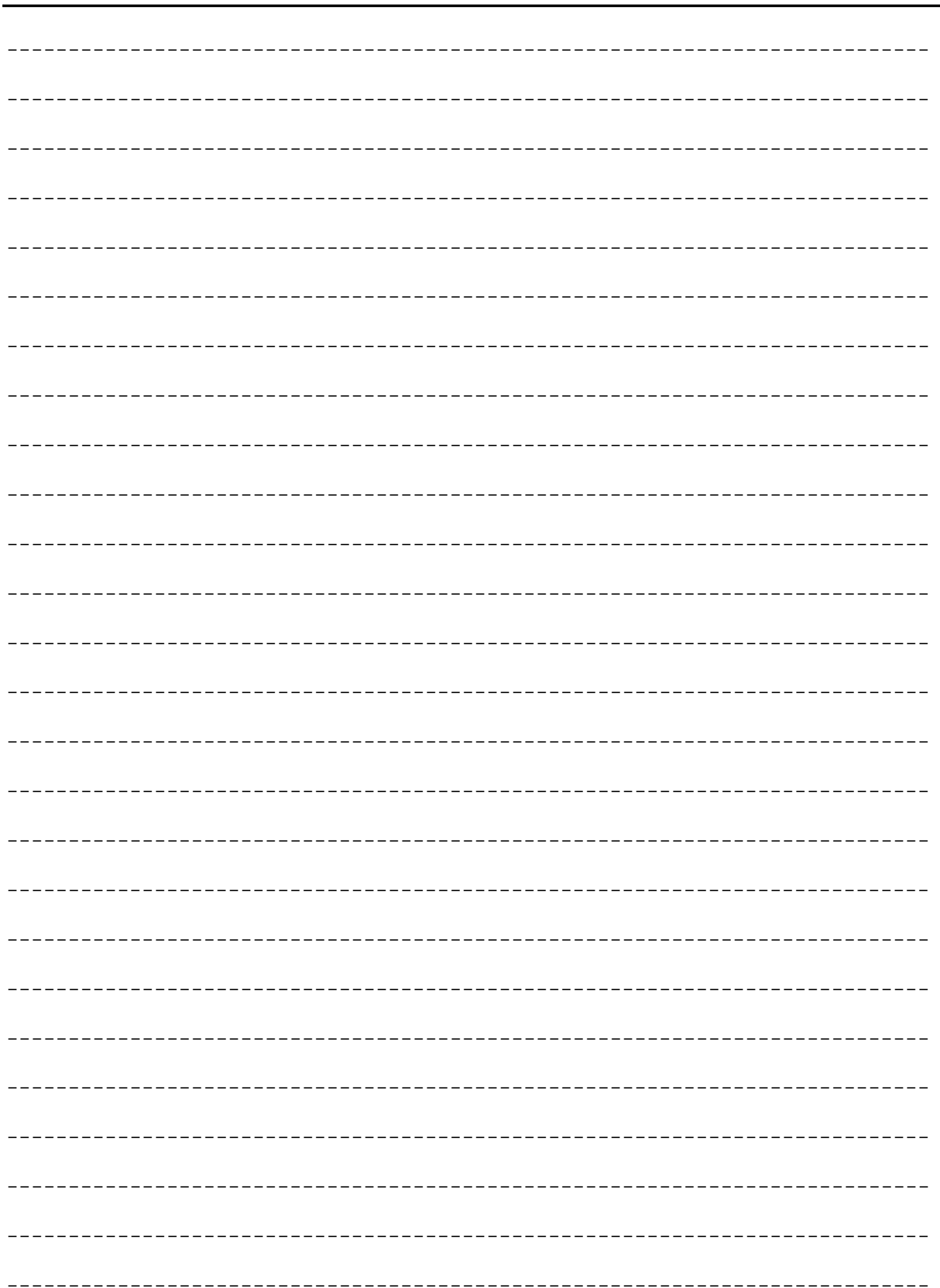


平成29年度 2号館配置図



- ・BLはBlended learning講義室の略称です。
- ・BL1/303は3号館3階にあります。







『夜間主コース・ゼミナール紹介本』 2018

発行日：平成29年9月25日

編集者：吉岡 竜一

発行者：九谷 寛人

発行所：小樽商科大学学生自治会事務局

〒047-8501 小樽市緑3丁目5番21号

小樽商科大学 大学会館2F自治会室（内線：6550）

許可なく本書の一部または全部を複製することを禁ず.